



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月6日

上場会社名 株式会社ヒガシマル 上場取引所 福
 コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 紘一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 上野 善博 TEL (099) 273-3859
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	1,769	3.1	△15	—	△7	—	△33	—
22年3月期第1四半期	1,715	△10.8	△62	—	△0	—	5	△87.8

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	△7	09	—	—
22年3月期第1四半期	1	19	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年3月期第1四半期	9,215		4,120		44.7	875	73	
22年3月期	8,744		4,281		49.0	909	91	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 4,120百万円 22年3月期 4,281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
22年3月期	—	0 00	—	9 00	9 00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期（予想）	—	0 00	—	9 00	9 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	4,807	7.8	166	29.5	170	△14.6	86	△20.3	18	36
通期	9,160	11.8	219	11.2	287	16.4	148	74.0	31	65

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は〔添付資料〕3ページ、「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社（社名） — 、 除外 一社（社名） —

（注） 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注） 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

（注） 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	4,746,000株	22年3月期	4,746,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	40,842株	22年3月期	40,842株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	4,705,158株	22年3月期1Q	4,705,179株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年5月18日発表の数値に変更はありません。また、本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ、「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、在庫調整の進展による鉱工業生産の増加やアジアを中心とする海外経済の回復を背景とした輸出や生産の増加などによって、景気は緩やかな回復を続けております。個人消費は厳しい所得環境が続くなか、政策効果により持ち直しの動きが持続しておりますが、資源価格の急騰によって物価の下落幅が縮小しつつあるものの、消費者物価は下落基調が続いております。

このような状況のなか、当社は生産コスト及び販売コスト等の削減を継続し、商品の品質向上及び低価格商品の開発に取り組み、自社商品の販売が伸びたことから、売上高は17億69百万円と前年同四半期と比べ53百万円(3.1%)の増収となりました。損益面につきましては、自社商品の売上構成比が高くなり前年同四半期と比べ利益率が改善したことなどにより15百万円の営業損失(前年同四半期は62百万円の営業損失)となり、為替差益の減少と当第1四半期連結会計期間から「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号)を適用したことに伴い、特別損失に資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額12百万円を計上したことなどにより、33百万円の四半期純損失(前年同四半期は5百万円の純利益)となりました。

なお、養魚用配合飼料の需要は、養殖魚の成長過程に応じ、生育が旺盛になる夏から初冬までが多く、水温が低下し餌食いが鈍くなる冬から春は少なくなるという季節的変動があります。したがって、当第1四半期連結会計期間の売上高は、第2四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間と比べ低くなる傾向にあります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 水産事業

水産事業におきましては、主にエビ飼料類、ハマチ飼料類、ヒラメ飼料類などが伸び、売上高は13億56百万円となりました。売上高に占める自社商品比率が増加したことからセグメント利益は23百万円となりました。

② 食品事業

食品事業におきましては、春先からの平均気温が平年より低く、そうめん類などの夏季商材が振るわなかったことから、売上高は4億13百万円となりました。売上高の減少に伴い、セグメント利益は33百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ4億70百万円増加し、92億15百万円となりました。これは、主として現金及び預金が3億52百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が4億54百万円、商品及び製品が93百万円、原材料及び貯蔵品が1億98百万円、機械装置及び運搬具が86百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ6億31百万円増加し、50億94百万円となりました。これは、主として買掛金が2億4百万円、短期借入金が2億45百万円、その他の負債が2億77百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ1億60百万円減少し、41億20百万円となりました。これは、主として繰延ヘッジ損益が88百万円、配当金の支払及び四半期純損失により利益剰余金が75百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当社グループの売上高は、第1四半期連結会計期間より第2四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間の割合が高くなる季節的変動があり、また、将来の業績に影響を与える可能性のある事象も発生していないことから当初の業績予想を修正しておりません。

当社グループを取り巻く経済環境の変化が想定範囲を超えることとなった場合には業績予想を見直す可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の見積額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間から「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、税金等調整前四半期純損失が12,645千円増加しております。また、当会計基準の適用開始による資産除去債務の変動額も同額であります。

2. 表示方法の変更

（四半期連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,048,438	1,401,050
受取手形及び売掛金	1,554,908	1,100,279
有価証券	170,000	170,000
商品及び製品	431,384	338,235
仕掛品	26,378	43,271
原材料及び貯蔵品	915,445	717,040
その他	206,251	130,507
貸倒引当金	△418	△530
流動資産合計	4,352,388	3,899,855
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,117,936	1,125,771
機械装置及び運搬具（純額）	973,943	887,770
土地	1,746,746	1,746,746
その他（純額）	47,368	152,534
有形固定資産合計	3,885,995	3,912,822
無形固定資産		
投資その他の資産	99,273	100,629
投資その他の資産	885,143	839,224
貸倒引当金	△7,547	△7,547
投資その他の資産合計	877,596	831,677
固定資産合計	4,862,865	4,845,129
資産合計	9,215,253	8,744,984
負債の部		
流動負債		
買掛金	775,273	570,342
短期借入金	2,833,113	2,588,062
未払法人税等	18,400	77,300
賞与引当金	42,845	83,702
その他	423,780	271,432
流動負債合計	4,093,412	3,590,841
固定負債		
長期借入金	50,000	63,100
役員退職慰労引当金	468,025	464,435
その他	483,354	345,345
固定負債合計	1,001,379	872,880
負債合計	5,094,792	4,463,721

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	3,378,248	3,453,972
自己株式	△28,938	△28,938
株主資本合計	4,411,609	4,487,333
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,537	18,741
繰延ヘッジ損益	△245,669	△156,920
為替換算調整勘定	△65,015	△67,891
評価・換算差額等合計	△291,148	△206,071
純資産合計	4,120,461	4,281,262
負債純資産合計	9,215,253	8,744,984

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,715,692	1,769,393
売上原価	1,496,873	1,495,143
売上総利益	218,818	274,249
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	69,738	77,547
給料及び賞与	64,742	60,697
賞与引当金繰入額	14,852	16,079
役員退職慰労引当金繰入額	1,485	3,590
その他	130,545	132,091
販売費及び一般管理費合計	281,364	290,005
営業損失(△)	△62,546	△15,755
営業外収益		
受取利息	707	1,428
受取配当金	1,248	1,696
為替差益	57,857	4,381
物品売却益	8,418	1,809
受取保険金	—	6,240
雑収入	1,861	2,948
営業外収益合計	70,092	18,503
営業外費用		
支払利息	6,422	8,041
雑損失	1,481	2,157
営業外費用合計	7,904	10,198
経常損失(△)	△358	△7,450
特別利益		
賞与引当金戻入額	17,453	—
特別利益合計	17,453	—
特別損失		
固定資産売却損	232	—
固定資産除却損	100	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	12,645
特別損失合計	332	12,645
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	16,762	△20,095
法人税、住民税及び事業税	1,515	16,490
法人税等調整額	9,637	△3,207
法人税等合計	11,152	13,282
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△33,377
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,609	△33,377

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	16,762	△20,095
減価償却費	74,355	80,608
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	12,645
賞与引当金の増減額(△は減少)	△38,896	△40,861
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,485	3,590
固定資産除売却損益(△は益)	332	—
受取利息及び受取配当金	△1,955	△3,124
支払利息	6,422	8,041
為替差損益(△は益)	745	2,111
売上債権の増減額(△は増加)	△314,249	△454,317
たな卸資産の増減額(△は増加)	△173,857	△274,130
仕入債務の増減額(△は減少)	383,486	204,866
その他	△10,628	74,821
小計	△55,995	△405,845
利息及び配当金の受取額	2,460	4,113
利息の支払額	△3,665	△7,471
法人税等の支払額	△129,001	△72,047
営業活動によるキャッシュ・フロー	△186,201	△481,251
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△184,000	△202,000
定期預金の払戻による収入	344,000	656,000
有形固定資産の取得による支出	△99,446	△48,995
その他	△8,110	△4,504
投資活動によるキャッシュ・フロー	52,442	400,500
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	368,620	239,207
長期借入金の返済による支出	△45,211	△13,340
配当金の支払額	△42,346	△42,346
財務活動によるキャッシュ・フロー	281,062	183,521
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,760	△1,382
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	153,064	101,387
現金及び現金同等物の期首残高	458,108	482,937
現金及び現金同等物の四半期末残高	611,172	584,324

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	水産事業 (千円)	食品事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	1,288,107	427,584	1,715,692	—	1,715,692
営業利益又は営業損失(△)	△53,623	40,165	△13,457	(49,088)	△62,546

- (注) 1 事業区分は、製造方法、市場及び販売方法の類似性を勘案して区分しております。
2 各事業の主な製品は次のとおりであります。
(1) 水産事業……エビ飼料類、ハマチ飼料類、その他飼料類
(2) 食品事業……即席麺類、乾麺・つゆ類、その他麺類

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の事業のうち独立した財務情報を入手することができ、取締役会や経営政策会議などにおいて、経営の意思決定の際に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービスの種類別に事業体系を構築しており、各事業別に製造計画及び販売戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は製品・サービスの種類別セグメントから構成されており、「水産事業」及び「食品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「水産事業」は、エビ飼料類、ハマチ飼料類、その他飼料類の製造販売を行っており、「食品事業」は、即席麺類、乾麺・つゆ類、その他麺類の製造販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,356,216	413,176	1,769,393	—	1,769,393
セグメント利益	23,286	33,175	56,461	△63,912	△7,450

(注) 1 セグメント利益の調整額△63,912千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費51,526千円、営業外収益1,861千円、営業外費用14,246千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間から「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。